

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

初開催 インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」実証試験 ～地方自治体の施設管理に関する課題解決を支援します～

- 高度成長期以降に整備された橋やトンネル、堤防、ダム及び港、公園、下水道などインフラは、我々の生活や経済活動を支える基盤ですが、更新時期を迎える施設が増加していること等により、維持管理・更新費用が増大しています。
- インフラ施設の管理者、とりわけ地方自治体は、限られた予算と技術系職員で対応せねばならず、より一層のインフラメンテナンスの効率化が求められています。
- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」では、地方自治体が抱える施設管理に関する課題等に対し、複数の民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する実証試験を下記のとおり、開催します。※インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の活動内容は次頁

【第1回実証試験】プログラム詳細は別紙1

- 開催日時：令和元年10月17日（木） 13:00～17:10（予定）
※雨天時は10月24日（木）に延期
- 場 所：島根県出雲合同庁舎 702・703号会議（出雲市大津町1139）
- 課題（テーマ）：舗装の損傷状況の実態把握
- 参加予定団体等：島根県や島根県内の市町など8団体 23名
- 技術を紹介する企業（順不同）：東芝インフラシステムズ株式会社
株式会社富士通交通・道路データサービス
西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社
ニチレキ株式会社

- 中国地方整備局は、インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の取り組みを支援しています。（取材について）
当日は報道席を設けており、本会議の資料は会場にて配布いたします。報道席へご案内いたしますので、ご来場頂いた際は、受付までお越しください。

○問い合わせ先

- 【実証試験の内容に関すること】 「ちゅうごく」HP URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/im/index.html>
インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会（事務局）
（復建調査設計株式会社 保全構造部内）TEL：082-506-1814
藤井 友行（E-mail：icim-chugoku@fukken.co.jp）
- 【インフラメンテナンス国民会議に関すること】
国土交通省中国地方整備局 TEL：082-221-9231
企画部事業調整官 藤原 博 明（内線3116）
広域計画課 課長補佐 佐々田 敬 久（内線3212）
- 【広報担当窓口】
広報広聴対策官 岩下 恭 久（内線2117）
企画部環境調整官 坂本 泰 正（内線3114）

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の活動内容

○インフラメンテナンスのベストプラクティス（好事例）の水平展開

・施設管理者（自治体等）が抱える維持管理の課題解決に向けた民間企業等のノウハウの情報交換を行うために1～5の取り組みを進める



○民間企業と連携した中国地方発の技術開発

・①の取り組みの成果として、異業種の連携や技術の融合（中国地方の企業間でのマッチングによる技術開発）

※マッチング案件に関する証明、認証、技術の裏付けを国が行うものではない

★国民会議の活動による企業連携・技術マッチングの成果例★

<官民マッチング（現場試行等）>

<p>樹木管理技術</p> <p>桑名市 × 応用地質株式会社</p> <p>非破壊かつ、スピーディーに腐朽診断が可能な技術を試行 (H29.2.9)</p>	<p>局所的損傷の点検・診断・措置の一貫技術</p> <p>浜松市 × NICHIREKI</p> <p>局所的な損傷にあわせた点検・診断のノウハウを一貫して試行し、100kmの点検・診断・措置を実施 (H29.4.19/20, 5.11/12, 6.6/7(浜松市)7.3~(豊山市))</p>
<p>下水道点検調査技術</p> <p>岡崎市 × 豊橋市 × 株式会社 カンテール</p> <p>下水道本管から取付管を調査するTVカメラシステムを試行 (H29.2.15/16)</p>	<p>路面性状把握技術</p> <p>浜松市 × TOSHIBA Leading Innovation</p> <p>カメラによる舗装ひび割れ解析技術を試行し、約30kmの解析を実施 (H29.2.23)</p>

○地域における市民等の連携の推進

・地域における技術者育成の活動支援やインフラやメンテナンスへの関わりを深めるための実践活動を展開

★「産学官で取組む」岡山工業高校・津山工業高校・笠岡工業高校 道路パトロール隊」★

活動は、地元紙・業界紙、TVニュースなどで取り上げられている 生徒自らが点検を行い、異常箇所を写真撮影し、報告 事前に講習を受け点検を行う際のポイントを学ぶ

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」へ参画した場合のメリット

○インフラメンテナンスのベストプラクティス（好事例）の水平展開

○民間企業と連携した中国地方発の技術開発



- ◆施設管理者のメリット
 - ✓ ベストプラクティスの情報共有（課題と解決策の共有）
 - ✓ メンテナンスの効率化・高度化
- ◆民間企業のメリット
 - ✓ 施設管理者のニーズの把握
 - ✓ 保有技術の活用・応用、新技術の開発

- ◆施設管理者のメリット
 - ✓ 施設管理者のニーズを踏まえた技術開発
 - ✓ 地元のメンテナンス産業の育成、拡大
- ◆民間企業のメリット
 - ✓ 技術開発のための実証を行うフィールドを使用
 - ✓ 地方公共団体等の実績の確保
 - ✓ 異業種企業との連携による開発コストの分散・縮減

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」

第1回実証試験

開催日時・場所

令和元年10月17日(木) 13:00～17:10 (12:30より受付開始)

島根県出雲合同庁舎7階 702・703号会議室 (出雲市大津町1139)

プログラム

1. 開会の挨拶(13:00～13:05)

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー 藤井 堅
(広島大学 大学院 特任教授)

2. 挨拶(13:05～13:10)

島根県 土木部 技術管理課 管理監 池森 徹

3. 各技術の説明(13:10～14:10)

実証試験のテーマ「舗装の損傷度を把握する技術」

- ① 東芝インフラシステムズ株式会社
「路面損傷診断ツール、舗装ひび割れ解析サービス」
- ② 株式会社富士通交通・道路データサービス
「道路パトロール支援サービス」
- ③ 西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社
「道路管理画像を用いた路面評価システム」
- ④ ニチレキ株式会社道路エンジニアリング部
「点検・診断・措置一環システム」

4. 各技術の実演【使用機材、試走状況の確認】(14:10～15:30)

休憩(15:30～15:40)

5. 各技術の解析結果の説明・質疑(15:40～17:00)

6. 講評(17:00～17:05)

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー 藤井 堅
(広島大学 大学院 特任教授)

7. 閉会の挨拶(17:05～17:10)

国土交通省 中国地方整備局 企画部 事業調整官 藤原 博明